

ハイドロクラッチコンバージョンキット（ドライブギア付）取扱説明書

製品番号 02-01-0164

適応車種及び フレーム番号	KSRI10 (KL110A-000001 ~)
	KLX110 (LX110A-A08133 ~)
	KSRI10 (KL110CBF) (JKAKL110CCDA00058 ~)
	KSRI10 (KL110DDF) (KL110D-A57002 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎当製品はトランスミッションを変更するものではありません。そのためシフトパターンはノーマルと同じ（N→1→2→3→4）となります。

◎当製品の取り付けには、クラッチの分解及び組み立て等の作業が必要になります。また、純正特殊工具の使用が指定されている箇所があります。

上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。

◎取り付け作業には純正サービスマニュアル及び特殊工具等に関しましては、カワサキ取扱店にご相談願います。

◎当製品付属のL マスターシリンダー ASSY. はオイル確認窓が無い仕様の為、ブレーキフルードの量はオイルカップ部の上限線で確認して下さい。

◎KLX110Lには取り付けられません。

◎当製品付属のマスターシリンダーのミラー取り付けネジ径は8mmです。

◎アルマイト製品は経年変化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。

◎取扱説明書や純正サービスマニュアルは、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は、取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。

◎KLX110(LX110A-000001 ~) 車両にはプライマリドライブギア付きキットの取り付けが出来ません。プライマリドライブギア無しキットをご購入下さい。

～特徴～

KSRI10のクラッチをマニュアルクラッチ化するキットです。

マニュアルクラッチ化する事により、オートバイ本来の走りを楽しむ事が可能になります。

油圧方式のクラッチレリーズをノーマルのクラッチカバー内部に取り付けます。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。

（部品の脱落の原因となります。）

■ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

■ブレーキフルードはなるべく皮膚に触れないようにし、作業後は十分に洗い流して下さい。（手荒れの原因になります。）

■ブレーキフルードは指定のブレーキ液を使用して下さい。銘柄の異なるブレーキ液を使用しないで下さい。

（トラブルの原因、化学変化の恐れがあります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。（部品破損等の原因により、転倒・事故につながる恐れがあります。）

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。

（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

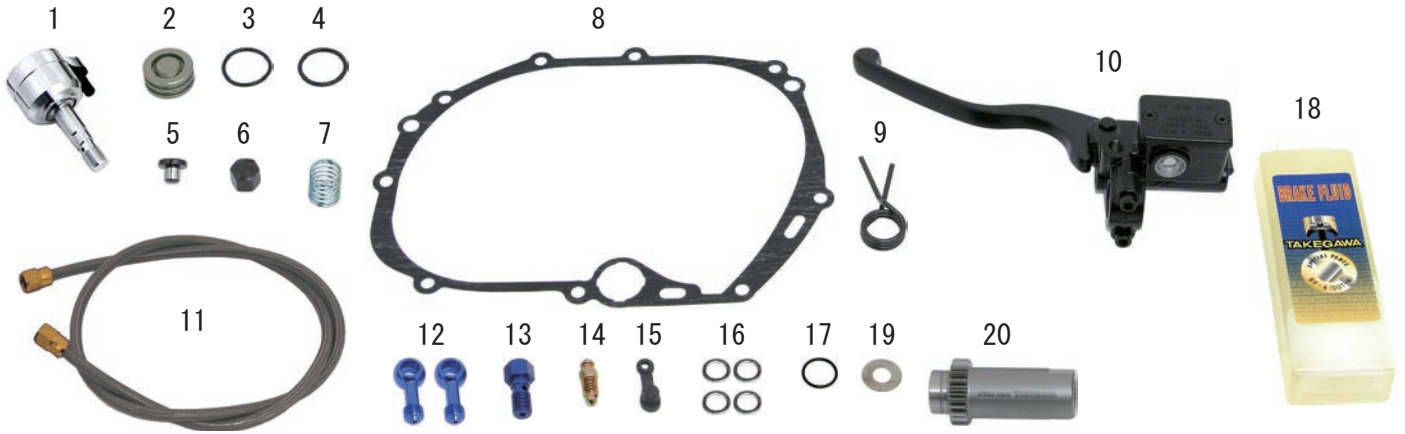
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857



番号	部品名	個数	リペア品番
1	クラッチレリーズシリンダー COMP.	1	22861-KL1-T01-C
2	クラッチレリーズピストン COMP.	1	00-02-0086 (0リング付)
3	Oリング 23.5x2.0	1	
4	Oリング 21.8x2.4 (NBR)	1	00-02-0189
5	クラッチリフターロッド	1	22847-KL1-T01
6	バンジョーナット	1	22887-KL1-T00
7	クラッチレリーズスプリング	1	22864-KL1-T00
8	クラッチカバーガスケット	1	11393-KL1-T00
9	チェンジシャフトリターンズスプリング (※)	1	00-02-0153
10	L. マスターシリンダー ASSY.	1	02-02-2103
11	ブレーキホース 960mm	1	06-08-0105
12	バンジョー (ストレート)	2	00-07-0006
13	エアーフリーバンジョーボルト	1	
14	ブリーダースクリュー	1	90140-181-T00
15	ブリーダーキャップ	1	
16	シーリングワッシャ 10mm	4	00-07-0010 (10ヶ入り)
17	Oリング S16	1	00-00-0048 (4ヶ入り)
18	ブレーキフルード BF-4 (200cc)	1	06-08-0019
19	シムリング 9x20x0.5	1	00-02-0116
20	プライマリドライブギア (22T)	1	02-01-0304

※ KLX110 に使用する場合、この部品は使用しません。

※ リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

■ 取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

(準備)

1. キット内容をご確認下さい。
2. 車両をメンテナンススタンド等でしっかりと安定させます。

(クラッチ周辺の作業)

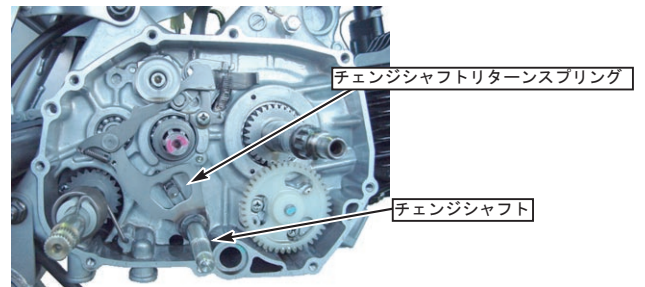
KLX110 に使用する場合、7～9の作業は不要です。

1. エンジンオイルを抜き取ります。
2. クラッチカバーのクラッチ調整用のロックナットを緩めます。
キックスターターアーム、ブレーキペダル等を取り外し、クラッチカバーを取り外します。
3. 以下の部品を取り外します。

a	b	c	d	e

 - a. レリーズボール ASSY.
 - b. レリーズカム
 - c. ボールベアリング
 - d. ボールベアリングホルダ
 - e. レリーズレバー
4. プライマリクラッチホルダーを用いてプライマリクラッチを保持し、プライマリクラッチハブナットを取り外します。
そして、プライマリクラッチハブを取り外します。
∴特殊工具 プライマリクラッチホルダー 57001-1507

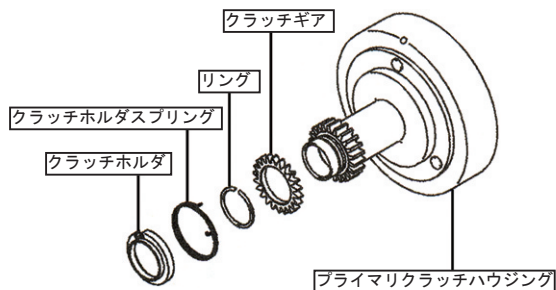
5. クラッチホルダーを用いてセカンダリクラッチを保持し、セカンダリクラッチハブナットを取り外します。
∴特殊工具 クラッチホルダー 57001-1508
6. プライマリクラッチとセカンダリクラッチを一緒に取り外します。
※ワンウェイクラッチをプライマリクラッチから取り外さないように注意して下さい。
7. L. 側のチェンジペダルを取り外してチェンジシャフト、チェンジシャフトリターンズスプリングを取り外します。



8. ノーマルのチェンジシャフトリターンズスプリングをキット内のチェンジシャフトリターンズスプリングに交換してチェンジシャフトを組み付けます。
※スプリングの向きに注意して下さい。
※組み付け時、スプリングでケガをしないよう注意して下さい。
9. チェンジペダルを取り付けます。

(任意)

- クラッチハウジングよりクラッチホルダ、クラッチホルダスプリング、リング、クラッチギアを取り外します。
- 取り外した部品をドライブギアに組み付けます。
 - クラッチギアをドライブギアに取り付けます。
 - クラッチホルダにホルダスプリングを取り付けます。
 - 歯形を一致させてドライブギアにクラッチホルダを圧入します。
 - 任意の歯先どうしにマークを付けておきます。



(クラッチの取り付け)

- カウンターシャフトにセカンダリクラッチを、クランクシャフトにプライマリクラッチをそれぞれ挿入します。
- クラッチホルダーでセカンダリクラッチを保持し、セカンダリクラッチナットを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
セカンダリクラッチナット
トルク：72N・m (7.3kgf・m)

(クラッチギアを取り付ける場合)

- クラッチギアを時計回りに2歯分回転させ、ドライブギアをクランクシャフトに取り付けます。

※歯先に付けたマークがずれている事を確認して下さい。

(クラッチギアを取り付けない場合)

ドライブギアをクランクシャフトに取り付けます。

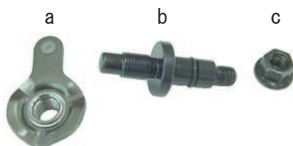
- クランクシャフトにナットを取り付け、ドライブギアの回り止めをした状態で、ナットを指定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：72N・m (7.3kgf・m)

- クラッチ周辺の作業で取り外したボールベアリング、ボールベアリングホルダをセカンダリクラッチに取り付けます。

(クラッチリリースシリンダーの取り付け)

- クラッチカバーより下記の部品を取り外します。
 - リリースプレート
 - リリースシャフト (アジャスティングスクリュー)
 - ロックナット

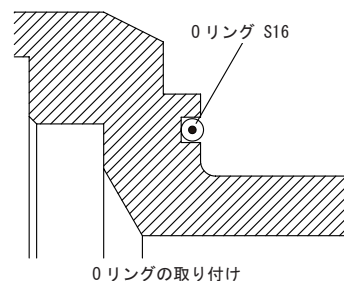
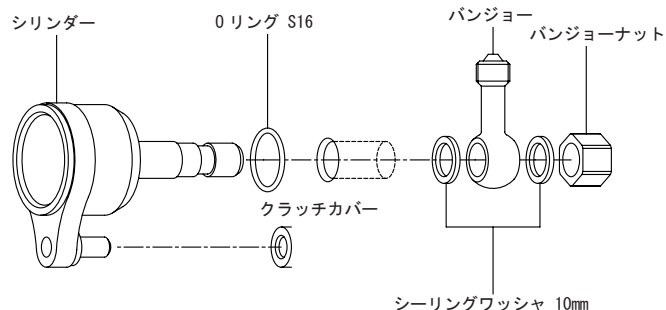


- クラッチリリースシリンダー COMP. (以下リリースシリンダー)、Oリング S16、バンジョー、シーリングワッシャ 10mm そしてバンジョーナットを使用してクラッチカバーに取り付けて仮締めします。
 - ※Oリングを取り付ける際、溝の外側にOリングがはみ出さないように注意します。
 - ※リリースシリンダーのピンをクラッチカバーの穴に収まるように取り付けます。

- バンジョーの取り付け角度を決めてバンジョーナットを指定トルクで締め付けます。

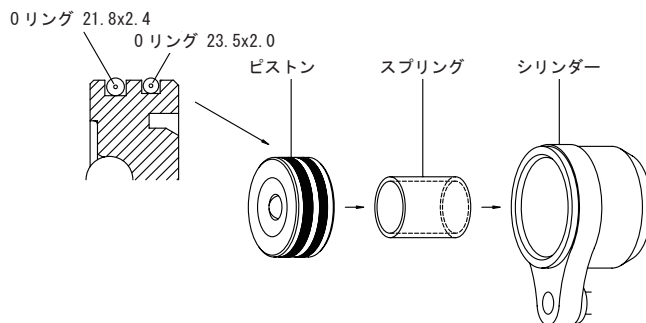
※バンジョーナットの締め付けトルクは必ず守って下さい。
トルク不足の場合、オイル漏れの原因となります。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーナット
トルク：15N・m (1.5kgf・m)

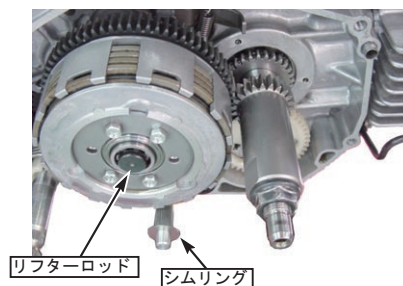


- クラッチリリースピストンのOリングにグリスを塗布し、クラッチリリーススプリングをピストンに取り付けてリリースシリンダーに挿入します。

※クラッチリリースシリンダーを分解した際は、Oリングは再使用せず必ず新品と交換して下さい。



- セカンダリクラッチのボールベアリングにクラッチリフターロッドを取り付けます。
 - ※シムリングをチェンジシャフトに取り付けます。



(クラッチカバーの取り付け)

1. クラッチカバーのキックシャフト部のオイルシールリップにグリスを塗布します。
2. ケース合わせ面を脱脂し、ノックピン2本とクラッチカバーガasketをクランクケースに取り付けます。
3. クラッチカバーを取り付けます。クラッチカバースクリューでクランクケースに仮締めし、クランクケース中央から締め付け順序に従って指定トルクで締め付けます。

※取り付け時、クラッチリフターロードが落ちていないことを確認します。
※締め付け順序はサービスマニュアルを参照して下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
クラッチカバースクリュー
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)

(マスターシリンダーの取り付け)

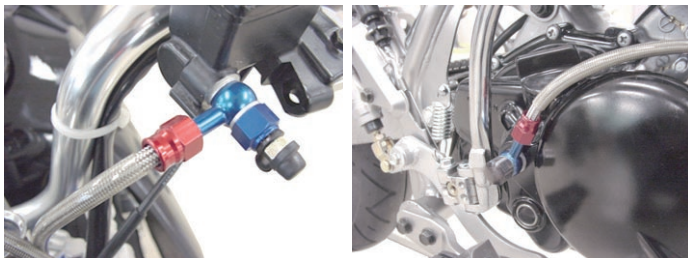
1. L. 側のミラー、ミラーホルダーを取り外します。
2. L. マスターシリンダーをハンドルにフランジボルトで取り付け、指定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

3. シーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャの順にエアフリーバンジョーでL. マスターシリンダーに取り付けて仮締めします。クラッチホースを各バンジョーに取り付けます。バンジョーの取り付け角度、クラッチホースの取り回しが決まれば、バンジョーボルト、クラッチホースのフィッティングを規定トルクで締め付けます。

※クラッチホースの取り回しはマフラーに干渉したり、ハンドル操作に支障をきたす事が無いようにして下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト
トルク：13～15N・m (1.3～1.5kgf・m)
フィッティング
トルク：5～6N・m (0.5～0.6kgf・m)



4. エアフリーバンジョーボルトにブリーダーキャップを取り付けたブリーダースクリューを取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ブリーダースクリュー
トルク：5N・m (0.5kgf・m)

(エア抜き作業)

1. ブリーダースクリューを締め付け、リザーバタンクにブレーキフルードを注入し、ダイヤフラム、セットプレートを取り付けます。
2. ブリーダースクリューに透明なブリーダーホースを接続し、ホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にする。
3. クラッチレバーの操作を繰り返し、ブレーキ液レベルに注意しながらクラッチレリーズ、クラッチホース、マスターシリンダー内にブレーキ液を満たします。この操作をリザーバタンク内の穴から気泡が出なくなるまで(クラッチレバーの操作に重みを感じるまで)行います。



4. クラッチレバーを数回操作し、作動させた状態でブリーダースクリューを1/2回転緩め、再度締め付けます。

※ブリーダースクリューを締め付けるまで、レバーを放さないで下さい。
5. クラッチレバーをゆっくり放し、完全に戻ったら数秒間放置します。
6. 4、5の作業をブリーダースクリュー、リザーバタンクから気泡が出なくなるまで繰り返します。

7. ブリーダースクリューを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ブリーダースクリュー
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)

8. エア抜き後、ブレーキフルードをリザーバタンクの上限線まで補給します。



9. リザーバカバーを取り付けます。

▲注意：エア抜きが完全でない場合、エンジンが高温になるとクラッチが切れなくなる可能性があります。

(組み付け後)

1. ドレンボルト {トルク：29N・m(3.0kgf・m)} が締め付けてある事を確認した後、エンジンオイルを1,100cc注入しホールキャップを取り付けます。

※ホールキャップのOリングに少量のエンジンオイルを塗布して取り付けて下さい。

※クランクケース分解作業を伴わない場合(オイル交換時)は、エンジンオイルを900cc注入して下さい。オイルフィルター交換時は、エンジンオイルを1,000cc注入して下さい。

2. スパークプラグを外し、キックを数回踏み下ろしてオイルをエンジン内に回した後、スパークプラグを取り付けます。

3. エンジン停止状態でトランスミッションを1速にシフトし、クラッチレバーを握ります。車両を動かした際リアホイールが回転しクラッチレバーを放した状態でリアホイールが回転しないことを確認して下さい。

※エンジン停止時、ニュートラル以外の状態でクラッチを切らなくても、車両を後ろ向きに動かすと後輪はロックせずに回転します。これは遠心クラッチのワンウェイクラッチの特性であり、異常ではありません。

4. トランスミッションがニュートラル状態でエンジンを始動し、各部のオイル漏れを点検します。異常が無ければ安全な場所で低速度の走行テストを行いクラッチの作動を確認して下さい。

マスターシリンダーのご使用について

レバー交換等で一度マスターシリンダーよりレバーを外した際は、レバー取り付け後にピストンとレバーの遊びが変わる場合があります。その場合、レバーの斜線部分をヤスリ等で削って調整して下さい。

